

6/20
~ 29

園児の皆さんへ花の苗をお届け

九州電力(株)松浦発電所、JPGS (株)松浦火力運営事業所



発電所近隣の保育施設 11 か所に園児 598 人分の花苗が届けられました。

この取り組みは、6月の環境月間の一環として、子どもたちの心身の成長と健康、環境への意識を高めてもらおうと2社合同で行われているものです。

29日には、みくりや双葉園（松浦敬乗園長）の園児 60 人に花苗が届けられました。

園児たちは好きな花苗を1つ選び、それぞれの家庭で大切に育てています。

6/24
(土)

多くの思いが集まり完成

鎮西伊勢分宮 姫神社（御厨町）



同神社総代会（福田新一会長）は地域の人が集まる憩いの場になればと神社の環境整備を数年前から行い、令和4年度に福宝神社（金持様）の参道整備を予定していたが、台風の影響などで整備が中断、狛犬の顔が欠けるなどの被害を受けました。

そのため令和4年10月にクラウドファンディングや一般寄付を募集。市内や全国の皆さん総勢 250 人以上から支援が集まり、松浦鉄道線路の枕木を使用した参道や新しくなった祠、2対の狛犬などがお披露目されました。

まちの話題

7/2
(日)

自分の思いを言葉にして

松浦ライオンズクラブ第36回小中学生弁論大会



▲発表する土橋さん（写真左）、金澤さん（写真右）
松浦ライオンズクラブ（福田邦光会長）が主催する同大会が文化会館で開催され、市内小中学校から選ばれた代表 16 人が自身の主張を発表しました。

最優秀賞として、中学生の部に土橋真采さん（志佐中3年）の「ありのままの松浦」、小学生の部に金澤海咲さん（志佐小6年）の「身の回りから、未来への第一歩」が選ばれました。

また、審査員特別賞には、大石華さん（鷹島小6年）が選ばれました。

6/26
(月)

消防団活動への協力をたたえる

消防団協力事業所長崎県知事表彰伝達式



▲写真左から山本管理課長（2番目）、吉本部長（3番目）

第76回長崎県消防団大会において、職員の消防団活動へ深い理解と協力を得ている事業所をたたえる同表彰を中興化成工業株式会社松浦工場（吉本勝彦松浦生産本部長）が受賞し、その伝達式が市役所で行われました。

同事業所には現在13人の消防団員が所属し、就業規則において消防団活動時の特別休暇制度などを設けるなど市内において先進的な取り組みが行われています。

※外字に関しては、新聞表記とあわせて掲載させていただきます。

7/4
(火)

今シーズンの安全を祈願
松浦市民休養施設柚木川内キャンプ場安全祈願祭



同キャンプ場の今シーズンの利用開始（7月1日～）にあわせて、安全祈願祭が執り行われました。

当日は地区住民などの関係者が集まり、10月15日までの安全祈願を行いました。

6月18日には、利用者に気持ちよく使ってもらえるよう、地区関係者や松浦ロータリークラブ会員ら約20人が参加し除草作業やバンガロー内の清掃活動などを行いました。

7/1
(土)

きれいな海と安全を祈って
大崎海水浴場海開き祈願祭



御厨町にある同海水浴場の海開きを前に、今シーズンの安全を祈って大崎海水浴場組合主催による祈願祭が執り行われました。

今シーズンは7月8日～8月11日までの遊泳期間となり、毎年海水浴やキャンプ、バーベキューを楽しむ人でにぎわいます。

7月6日には、環境・地域共生活動の一環として、九州電力(株)松浦発電所、西九州共同港湾(株)、JPGS(株)松浦火力運営事業所の職員87人が海岸の清掃活動を行いました。

7/13
(木)

合言葉は「ういてまで」
まつうラッコ会（消防本部職員有志）



まつうラッコ会は市内の小学校6校を訪れ、水難事故を未然に防ぐための講習会「ういてまで」を実施しました。

講習会では、水難事故の約8割を占める服を着たままでの事故を想定し講習。星鹿小学校では、5、6年生計25人が参加し、会員5人から「ういてまで」のキーワードとともに浮いたままおぼれないように待つ方法や、救助を行うときの注意点などを学びました。

7/4
(火)

守り育てる漁業を学ぶ
福島養源小学校 少年水産教室



新松浦漁業協同組合（渡邊勝美組合長）福島くるまえび養殖場と県は、同学校の4年生22人を対象に、水産教室を開きました。この取り組みは、地元の水産業に興味を持ち、理解を深めてもらおうと毎年実施されています。

児童はクルマエビの養殖場や設備を見学しながら、生態や育て方や海藻の茂み「藻場」について説明を受け、最後に養殖池へ稚エビ約300匹の放流と海草の一種であるアマモ約50本の植え付けを行いました。